年間授業計画　新様式例

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　芸術　科目 書道Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（1･2組：横山）　（7･8組：横山）　（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 書Ⅱ(光村図書)　）

教科　芸術　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】多様な芸術の知識と技術を学び、自ら芸術作品を生み出したり、他者の芸術を理解し鑑賞することができる。

【思考力、判断力、表現力等】芸術の良さの源泉について思考し、感動をもたらす要素について知識をもとに判断し、その感動を他者に対して効果的に表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】多様な芸術についてそれぞれの魅力を理解し、鑑賞や創作を通じて生涯において芸術を尊重し愛好する心情を育む。

科目　書道Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書道Ⅱの　目標 ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表現している。	書道Ⅱの　目標 ・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美しさを味わい捉えたりしている。	書道Ⅱの　目標 ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・ 書かれた時代や書き手の個性による篆書の多彩な表現を感じ取らせる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「石鼓文」「篆書崔子玉座右銘四屏」の書風や構成の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・ 「乙瑛碑」の鑑賞・臨書を通して隷書の特徴を捉え，書体に即した用筆・運筆を理解させる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「居延漢簡」「隷書崔子玉座右銘」の書風や構成の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・ 書体や書風，配字による表現の効果を理解し，感興や意図に応じて構想させる。 ・ 篆刻の技能を習得し，個性的に表現させる。 ・ 印の歴史を理解させる。 ・ 印を鑑賞し，その美を構成する諸要素や，表現方法・形式などを理解させる。 ・基本的な執筆法，用具・用材について理解させる。 ・基本的な用筆で書かせる。	・篆書…泰山刻石、石鼓文　臨書 ・篆刻…自用印の制作 ・漢字作品制作	○	○	○	○	作品提出・取り組み状況	○	○	○	22
2学期	・ 書かれた時代や書き手の個性による草書の多彩な表現を感じ取らせる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「真草千字文」「草書諸上座帖巻」の書風や構成の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・ 書かれた時代や書き手の個性による草書の多彩な表現を感じ取らせる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「真草千字文」「草書諸上座帖巻」の書風や構成の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・ 書かれた時代や書き手の個性による行書の多彩な表現を感じ取らせる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「顔眞卿」の書風や構成の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・ 書かれた時代や書き手の個性による行書の多彩な表現を感じ取らせる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「顔眞卿」の書風や構成の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・ 書かれた時代や書き手の個性による行書の多彩な表現を感じ取らせる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「集王聖教序」「松風閣詩巻」の書風や構成の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・意図に即した用筆・運筆および用具・用材を選択させ，表現形式に応じて全体の構成を工夫して表現させる。 ・意図に即した用筆・運筆および用具・用材を選択させ，表現形式に応じて全体の構成を工夫して表現させる。 ・意図に即した用筆・運筆および用具・用材を選択させ，表現形式に応じて全体の構成を工夫して表現させる。	・草書…十七帖、書籍　臨書 ・行書…争座位文稿、臨書 ・行書…集王製教序、臨書 ・年賀状、カレンダー制作	○	○	○	○	作品提出・取り組み状況	○	○	○	28
3学期	・ 平仮名・変体仮名の書き方を習得させる ・ 表現方法や形式による効果を分析し，筆者の意図を感じ取るとともに書の意義について理解を深めさせる。 ・ 平仮名・変体仮名の書き方を習得させる ・ 表現方法や形式による効果を分析し，筆者の意図を感じ取るとともに書の意義について理解を深めさせる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「高野切第二種」「針切」「香紙切」の表現の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫させる。 ・ 古筆の多彩な表現を感じ取らせる。 ・ 日本文化における「空間」の美意識について理解させる。 ・ 鑑賞・臨書を通して「継色紙」の構成美を理解させる。 ・表現方法や形式による表現の効果を分析し，筆者の意図を感じ取る。 ・ 名筆の鑑賞にもとづいて表現を工夫し，個性的に表現させる。 ・感興に応じて素材を選び，表現や構成，用具・用材を工夫して構想させる。 ・ 創作を通して充実感や喜びを味あわせる。	・仮名…いろは単体、変仮仮名 ・高野切第一種　臨書・百人一首散らし書き ・漢字仮名交じりの書	○	○	○	○	作品提出・取り組み状況	○	○	○	20
											合計 70